



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 487号

2015. 8. 21

発行責任者

岸田義典

目次

2015

- モンゴル, ASABE の国際会議に出て
(株)新農林社代表取締役社長 岸田義典2
- 国別輸出入 (2015年6月).....9
- WORLD NEWS 14
- EVENTS CALENDER 22

Vol. 8

モンゴル, ASABE の国際会議に出て

(株)新農林社代表取締役社長 岸田義典氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 486 回海外農業機械事情報告会を平成 27 年 8 月 3 日 (月) に開催した。講師は、(株)新農林社代表取締役社長の岸田義典氏。同氏は、今年 7 月にモンゴルで開催された国際シンポジウム、8 月に米国で開催された ASABE 年次大会に出席。同大会では、永年にわたる日本や開発途上国での農業機械化の推進、および出版活動の功績を表彰され、日本人として 4 人目となるフェローの称号を授与された。今回は、この 2 つの大会について「モンゴル, ASABE 国際会議に出て」と題し、報告した。

要旨は以下の通りである。

モンゴルの概況

モンゴルの国土面積は日本の約 4 倍あります。5 年前に行った時の人口は約 270 万人、そのうち首都圏に約 100 万人住んでいました。現在は人口約 300 万人、首都圏に 150 万人住んでいるそうです。5 年間で、50 万人と急増しています。ウランバートルの市内には 5 年前にはなかったビルやホテルがたくさん建ち、日本車が町中にあふれるような状況です。郊外にも新しい住宅が建ち、町が大きく拡がり発展していることを実感しました。ただし、日本の 4 倍の国土面積にこの人数ですから、人口密度は全く違い、とても低い。モンゴルの風土もありますが、自然と一体となって生きているという感じがとてもします。

ODA 技術協力

2013 年度の 2 国間 ODA は、約 1 兆 4,354 億円です。モンゴル向けは 167 億円で、全体の ODA の 1.2% でした。モンゴルは一人当たり 1,006 ~ 3,975 ドルの間の低所得国に位置づけられています。新しい無償資金協力は行えず、技術協力や有償資金協力ができます。167 億円のうち技術協力は 18 億円、有償資金協力が 32 億円です。円借款が 117 億円です。技術協力では、2013 年までに専門家が約 30 人 (そのうち農林水産業関連で行った人が 15%) がモンゴルに派遣されました。日本での研修受け入れは 6 人、そのうちの農林業の割合は非常に少ない。

全体の専門家の派遣人数、研修員の受入人数はトータル 463 人です。農林水産業分野は 36 人で 8% でした。

2015 年 5 月現在まとまっているプロジェクトは、獣医畜産分野の人材育成能力強化プロジェクトで、JICA、農林水産省、モンゴル食糧農牧省、モンゴル国立農業大学等が 2010 年から 5 カ年計画で取り組んできました。また、地球規模で対応する科学技術協力として、モンゴルにおける家畜の原虫病疫学調査と社会実相調査 (診断) があります。帯広畜産大学とモンゴル農業大学が、2015 年の 6 月から 2019 年の 6 月まで 5 カ年プロジェクトとして取り組んでいます。

モンゴルは他の国からも援助を受けていますが、2 国間 ODA で見ると日本の占める契約比率は、2013 年は約 45%、次に英国が 24%、ドイツが 9%、その他です。

モンゴルの輸出入

モンゴルの GNP に占める農業の割合は約 50% であり、農業の改革と発展が非常に重要な国です。モンゴルの主な農産物の生産金額はコムギが 37 万 t (日本は 87 万 t)、牛乳 38 万 t、馬鈴薯が 19 万 t、羊肉が 9 万 t、牛肉が 6 万 t。今後の農業の目標として、農産物の輸出国にすることを考えています。

日本とモンゴルの農林水産関係の貿易は、モンゴルから日本への輸入は、動物の腸、カシミヤ、山羊